

青年期・若い成人期の発達障害

～大学での支援の現状と社会への巣立ちに向けた取り組み～

自閉症スペクトラム、ADHD、学習障害などの発達障害とその特性をもつ人々は、近年では大学や専門学校などにも多く在籍し、それぞれの個性に合った社会への巣立ち方を模索しています。これらの人々に対して、家族や社会はどう理解し、支援することを求められているのでしょうか。今回の講演会では、豊富な実践経験を持つ高石恭子氏に、大学のカウンセラーとして相談にあたってきた立場から、現状と今後についてお話していただきます。

【日時】 2017年**8月1日**(火)
14:00～16:00(開場:13:30)

【会場】 サンスクエア堺 サンスクエアホール
JR阪和線「堺市」駅 西へ300メートル
お車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場をご利用ください

【費用】 無料 **7月1日受付開始**



お申込方法 参加者の氏名、連絡先(電話かFAX)を明記し、メールかFAXでお申込みください

お申込先 Mail: apricot-event@hannan.or.jp Fax: 072-275-8507(裏面に送信フォーム記載)

定員に達し、ご参加いただけない場合は、ご連絡いたします。

講師

甲南大学文学部教授 学生相談室専任カウンセラー
高石 恭子 氏

プロフィール

1988年京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。京都府下の精神科病院の心理士、母子療育教室のセラピスト等を経て、92年甲南大学文学部専任講師、96年助教授、2003年より現職。

著書

- 『臨床心理士の子育て相談 悩めるママとパパに寄り添う48のアドバイス』人文書院 2010
 - 『大学生がカウンセリングを求めるとき こころのキャンパスガイド』小林哲郎、杉原保史共編著 ミネルヴァ書房 2000
 - 『心理療法と物語』山口素子、武野俊弥、川戸圓共著 岩波書店 2001
 - 『現代人と母性』松尾恒子共編 新曜社 2003
 - 『〈私〉という謎 自我体験の心理学』渡辺恒夫共編著 新曜社 2004
 - 『育てることの困難』編著 人文書院 2007
 - 『12人のカウンセラーが語る12の物語』杉原保史共編著 ミネルヴァ書房 2010
 - 『学生相談と発達障害』岩田淳子共編著 学苑社 2012
 - 『子別れのための子育て』編著 平凡社 2012
 - 『働くママと子どもの〈ほどよい距離〉のとり方』榎原洋一監修、高石恭子編、柘植書房新社、2016
- 他多数

☆FAX専用申込票☆

下記の申込票に必要事項を記載の上、ファックスにて下記のお申込先までお申し込みください。

FAX番号 072-275-8507 (送信票不要:この用紙のみ送信ください)
堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 宛

堺市発達障害者支援センター 講演会

青年期・若い成人期の発達障害

～大学での支援の現状と社会への巣立ちに向けた取り組み～

参加申込票

お名前	ご連絡先 (お電話・FAX)

堺市発達障害者支援センター アプリコット堺

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F

Tel/Fax : 072-275-8506/072-275-8507

Mail : apricot-event@hannan.or.jp